

目 次

序 文	石 川 禎 浩 (i)
毛沢東と胡適	森 川 裕 貫 (1)
毛沢東の統一戦線論： 1935～1937年を中心として	水 羽 信 男 (33)
毛沢東伝の軌跡 ——蕭三作の伝記にみる毛沢東のイメージ形成	丸 田 孝 志 (57)
政治家・芸術家： 1940年代の延安における全体主義芸術の確立	漆 麟 (91)
毛沢東「新民主主義論」はどのように成立したのか？ ——中共の「五四」記念言説と国共関係を手がかりに	江 田 憲 治 (129)
中華人民共和国成立初期の「記念節日資料」中の毛沢東略伝について	小野寺 史 郎 (157)
毛沢東と巨大水利建築 ——1950年代の官庁ダムと十三陵ダムを中心に	島 田 美 和 (183)
大躍進と日本人「知中派」 ——論壇における訪中者・中国研究者	村 上 衛 (215)
文化大革命と毛沢東の水泳	高 嶋 航 (249)
陰謀論としての継続革命論、そして文化大革命	谷 川 真 一 (275)
1970年代の香港における左派思想 ——毛沢東派『盤古』の思想空間	中 村 元 哉 (303)
毛沢東思想学院の宣伝活動について ——ドキュメンタリー映画『夜明けの国』の上映活動を中心に	楊 韜 (325)
林彪派將軍回想録からみた毛沢東 ——吳法憲『歲月艱難 吳法憲回憶録』を中心に	瀬 戸 宏 (347)
現代中国政治の転換と華国鋒： 『毛沢東選集』第五巻の資料的考察	田 中 仁 (369)
毛亡き後に神話を守る ——遵義会議をめぐる文献学的考察	石 川 禎 浩 (409)